

○四日市市では、令和3年度において、小中学校の老朽化した図書室用机、椅子を更新する際、県産材を使用した備品整備を行った。

- ・児童生徒が使用する図書室用机、椅子に県産材を使用することで、木材利用への理解及び県産材に触れる機会の創出を図った。

○令和4年度においては、児童生徒が授業を始めとした教育活動を通じて、使用することにより、県産材に触れる機会の創出を図る。

事業内容

1 小中学校図書室の備品整備

- ・経年により老朽化した、笹川小学校、西朝明中学校の図書室用机、椅子の更新において、県産材を使用した備品整備を行った。

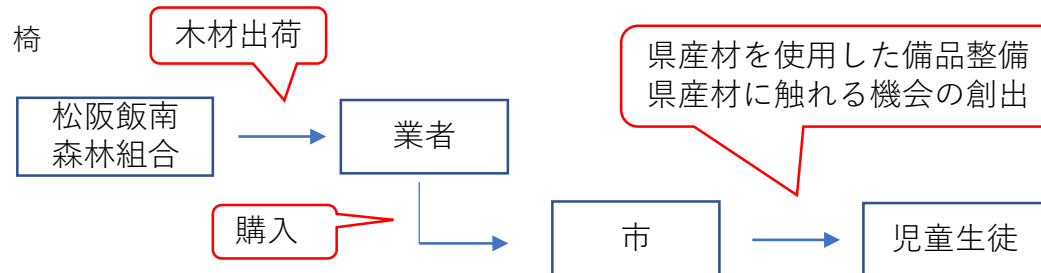
【事業費】 7,590千円（うち譲与税7,590千円）

【実績】 木材使用量2.605m³



事業スキーム

1 小中学校図書室の備品整備



工夫・留意した点

- ・児童生徒が使用する図書室に県産材を使用した机や椅子を導入することで、実際に木のあたたかさに触れることができるようになり、森や木に対する関心を高めることができるよう配慮した。

基礎データ

①令和3年度譲与額	28,013千円
②私有林人工林面積（※1）	1012ha
③林野率（※2）	13.7%
④人口（※3）	305,424人
⑤林業就業者数（※4）	14人

※1、2:「2020農林業センサス」より、※3:「R2国勢調査」より、

※4:「H27年国勢調査」より